

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	利用者のホームでの生活については、本人や家族からの情報及び日々の日常生活支援の中で生活課題を抽出しているが、アセスメントの中でしっかりと本人の意向に沿った支援が、介護計画の中で位置づけられているか、また実践できているかをうまく評価する事ができていない。	介護計画を見直す場合や新規に策定する場合に、アセスメントにより情報の幅を広げ、特に目先の支援だけではなく、本人がホームでどのように生活していきたいか、あるいはどのような楽しみを持ちながら自立性を発揮できるかを、利用者ひとり一人、しっかりとアセスメントを行った上で警護計画を策定する。	現在のアセスメント洋式では、本人の意向や本人本位の生活の在り方が見えてこないため、今後はセンター方式または、その他の様式を用いて、本人の声や意向ははっきりと見えてくるものとしていきたい。その上で介護計画を策定し、職員全員が同じ方向で支援できるようにしていく。	6ヶ月
2	13	ホームでの火災や災害を想定した訓練は定期的に行っており、地域住民や消防団との連携も欠かせないものとなっている。しかしいざ火災等が発生した場合の、地域住民への周知方法については、ホーム開所以来の課題となっている。	火災等の災害発生時には、昼夜を問わず消防署への連絡はもちろんではあるが、地域住民の協力体制が迅速に取れるように、ハード面ソフト面において充実を図っていく。	地域住民への連絡については、近隣住民数件の連絡先を、ホームの連絡網に位置付けるようにしていく。個人情報に関する取扱いも含めて、区長、民生委員等への呼びかけも含めて連携体制の整備をおこなっていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注)完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。